

## ボランティアまつりは中止になったけど・・・

先日、ボランティア連絡会役員で、今思うことを情報交換してみました。

その時の報告メモです。

今日の皆さんとの情報交換会がより有意義な時間となり、

次への取り組みにつながることを願っています。



### <今も続く、不安な気持ち>

- ・一般の人を募り集めることは、まだまだ難しい状況が続いている。
- ・感染症への不安度は人それぞれで違うので、人を集める催しを企画することは難しい。
- ・何を行うにも、参加するか？しないか？は、個人の意思を今は尊重することが大切。
- ・冬において、コロナ禍の中で、インフルエンザなどにも向かい合わないといけない。

### <今、みんなで集うことへの思い>

- ・今年度は新しい取り組みに挑戦するのは難しいが、今あるものをしっかり知らせていくチャンスではないか。
- ・こんなときだからこそ、できることはなんだろう？ 今、困っている人において、私たちができることはなんだろう？（当事者の人たちの声を聞かせていただくこと）
- ・ボランティアまつりの代替りの行事が必要なのではない。まつりをするのが最大の目的ではなく、そこで培ったつながりこそが最大の目的。
- ・今したいこと、「やはり直接会って話がしたい！」
- ・8.20 土砂災害後、私たちは「あさみなみ元気づけ隊」として、活動した。「支え合い・助け合い・離れていてもいつもつながろう！つながりは決してきれない。」そんな思いを発信したい。そこには、顔が見える安心感と信頼関係がある。必要とする人にきっと何かを届けられるはず。
- ・自粛生活、感染対策が必要とされる中で、一人一人が長くボランティア活動できるための工夫ってなんだろう？

### <これからにおけるアイデア>

#### ◆「今あるものを知らせていくチャンス」

→ まつりに代わる方法として、「まつり通信」みんなの今を発信し交流を継続。

#### ◆ボラ連主催の「研修会」「交流会」を活かすことはできないかな。

→ 「今、本当に困っている人の声（当事者の方のお話）を聞く会」

「感染症対策とボランティア活動についての勉強会」

「直接に会って、交流を楽しめる企画」